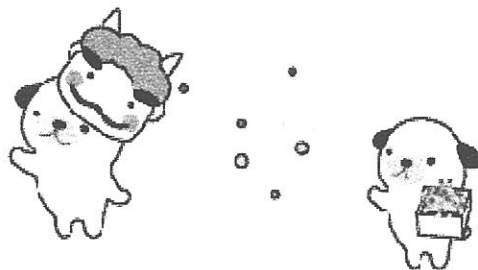


# バナナ通信

2月号



発行日：平成21年2月1日  
発行：沖縄県NPOプラザ  
(県庁4階県民生活課内)  
電話：098-866-2187  
FAX：098-866-2789  
E-mail：aa024007@pref.okinawa.lg.jp  
(県民生活課代表)  
HPアドレス  
<http://business4.plala.or.jp/oki-npo/>

## ちょっとNPO運営探ってみる！？号

### <2月号のcontents>

P2~P5 ~琉球烈団(最終回)~

- ・那覇市街角ガイド / ちょっと役立つかも!?運営本
- ・ちいろば会 / ちょっと役立つかも!?運営本PART2

P6~P7 県からのお知らせ

プチコラム ~ ちょっと一言

P8 助成金情報 / 編集後記

県内のNPO法人数…… 347 法人設立認証申請中の団体…23  
(平成21年 1月 15日 現在)

# 琉球烈団

情熱的な県内の団体をご紹介します！  
今月号は『那覇市街角ガイド』と『ちいろば会』を訪ね、それぞれの活動と運営について感じていることなどを語って頂きました。

<法人名：那覇市街角ガイド>

◎事務所住所：那覇市牧志2-1-4 那覇市観光案内所内 ◎電話：098-868-4887

## ○ 活動内容 ○

法人名そのもの、那覇市をガイドする団体です。主な活動は、首里城や公設市場などよく知られていながらも隠れた魅力を発見できる少人数グループへの観光ガイドや、外国船クルーズの乗船客へ通訳も含めたガイドを実施するなど特色ある活動を行っています。

～地域との結びつき～ 地元の人々をガイド！～

### ☆地元ガイド・子ども編(ボランティア)☆

“街角ガイド”の活動は地域に密着しています。その一例として、“子ども探検隊”という、地域の子供達をガイドする活動も行っていきます。ガイドする場所は首里城、公設市場、壺屋・国際通りで、反響が大きい場所の1つが市場だそうです。普段の買い物などはスーパーで済ませているため、

“近くにはあるけれど行った事がない市場”をガイドすると『子どもはもちろん、親御さんも驚嘆しながら聞いてくれます』との事。更に

『市場は品物も豊富で、食文化を伝えられる絶好の場所です。薬草の説明などもします。また、子ども達が楽しめるように、クイズ形式で行っています』

と、今回の取材に应运えてくれた鎌田さん。市場をめぐるながら、地元食材への興味に心をふくらませる子ども達の顔が浮かんでくるようです。また、この活動は、近年、重要性を増している“食育”の一助を担うことにもなり、教育現場などの社会的ニーズにも応えていると思われます。最近、学校の方から“街角ガイド”に、子ども達をガイドして欲しいというオファーがあり、社会科学習等の一環として、地域ガイドを行うこともあるそうです。

### ☆地元ガイド・大人編(ボランティア)☆

また、子どもだけではなく、地域の人向けに色々なガイドを行っています。

特に首里城から大道方面へと歩きながら歴史探訪するガイドコースには、

「健康ウォーキングをしながら歴史探索ができる」

と、60名もの参加があったそうです。このようなガイドコースも、高齢化社会が進む中で、健康増進と趣味の実現をかねていることから、地域・社会ともに密着した活動といえるかと思えます。



<ガイドの話を熱心に聞き入る参加者の皆さん↑>

## ◎街角ガイドからみえた NPO 的運営の特徴◎

～個々人の特徴を生かし

“求めていること”を形にする力～

“街角ガイド”のガイドはこだわりを持つ個性派  
そろいで、地域を愛する純粋な心でガイドを行っています。

ガイド個々人の意思・経験・能力を重視した上で、顧客とのマッチングを行っており、ガイド側、そして顧客側の双方をしっかりと尊重する活動…ガイドも顧客も楽しい活動というのが、その特徴となっています。

ガイド要請のあった顧客の要望…“顧客が求めていること”に応えるのは当然、簡単な事ではありません。その上、街角ガイドには約100名のガイド登録がされているそうですが、その中から、『顧客の要望に一番応えられるのは、誰なのか』ということをしるすぐ判断するというのは大変なことです。少なくとも、事務の主要メンバーが、ガイドメンバー個々人のことを、得意分野や性格など、詳細に理解・把握していなければならず、団体内のコミュニケーションがとても重要になってきますし、それは、根気のいる作業であることは想像に難くないと思います。

今回、取材に対応して頂いた鎌田さんは、マッチングをする主要メンバーということで、「大変でしょうね」というこちらの一言に対し、お客様との交流をとても楽しそうに語られているのが印象的でした。お話を伺い、大変なことがあっても、ガイドの楽しさと知り合った人々とのつながりが、その大変さを吹き飛ばして、次の活動の原動力となるのだな…と確信しました。

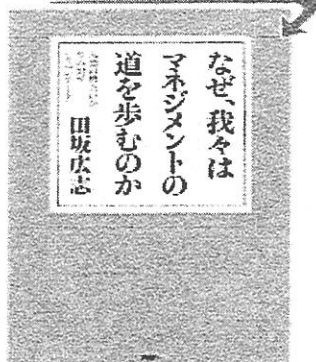
『楽しみながら、(人と地域を)つないでいく NPO の道』

をこれからも情熱をもって街角ガイドは続けていかれることと思います！

※ご多忙中にも関わらず、ビデオ等多数の資料とともに、詳細なお話をありがとうございました。

注目！

クリックなか見! 検索



### NPO運営に役立つかも！？本

「なぜ、我々はマネジメントの道を歩むのか」

(著者：田坂 広志 / PHP研究所)

社会起業家支援に奔走していることでも知られている田坂氏の一冊。マネージャーのポジションにいる人々へのメッセージ的な本ですが、“出会いについて” “誰もの心の奥に潜む「操作主義」” “無言の声を感知取る力” など、『マネジメントを管理ではなく人間の出会いが生み出す最高のアート』と捉える著者が、組織で人が係わりあうことで生まれる心の成長について、琴線にふれる言葉で語っています。また、著者は昨今“部下を動かす”的なマネジメントのハウツー本にも、“部下を思い通りにしようという” “心の操作” が働いているのではと警鐘を鳴らしています。

殆どのNPOは、企業形態のようなトップダウンではなく、フラットな合議制で事業運営が行われているかと思われませんが、上下関係がないからこそ、誰もが、会をマネジメントする上で、どのような人との関わりが必要であるかを一度は考察してみることが大切ではないかと思ひ、本書をお薦めすることにしました。ぜひ、ご一読を！

## <法人名 ちいろば会>

◎事務所住所:豊見城市字真玉橋327番地 フィエスタ de アスル 3-A 電話:098-856-2115

### ◎ 活動内容

ちいろば会は障がいのある方々（知的・精神・身体・発達・高次脳の5障がい）の就労支援を行う団体です。いつも明るくパワーにあふれている平成20年度認証の“できたて”団体ですが、素敵な3LDKの事務所があり、開所式には100名余りの方が集まったというその源を探ってきました。

#### ～本人の希望から出発！…それが活動の原点～

ちいろば会の事務所は豊見城市真玉橋の交差点から、すぐの好立地にあります。建物は新しく、中に入ると窓からは光が降り注いでとても明るく、気持ちのよい風が通っていました。

一歩入ると通常ある『作業台がない?!』ことに驚きましたが、支援するための福祉のイメージにとらわれない活動をするからこそ、ちいろば会なのだと思います。

「本人の夢、希望から出発します」  
「民間企業での就業以外、関心がありません」



とパンフレットの記載を示しながら、代表の石垣さんは言います。そして、それを遂行するための職業リハビリテーションの構造は ①民間企業での職場実習、グループ就労訓練 ②補足性を高める座学 が基本となっています。

本人の夢をまず絵や言葉で表現してもらい、自分の身近なところにいる支援者の確認などをしながら、夢実現（ちいろばでは、夢実現を“ちゅらライフ”と呼んでいます）のためのセルフプランをたて、前述の職業リハビリを行います。そのため、ちいろば会には作業台設置の必要がないということでした。

②の座学は“働くことに必要な技術対人技能・自己表出性を高める”ということで、取材の最中も、その一部を拝見することができました。発声訓練から、自己紹介の練習、そして、電子ピアノを机上に置いて音楽療法的アプローチも取り入れ、厳しさと楽しさを織り交ぜたメリハリのある訓練を行っており、皆が生き生きとした表情です。



見る夢 (dream) ではなく叶える夢 (I wish) の活動！  
～〇〇さんプロジェクトを遂行・実現するために～



個々の“ちゅらライフ”のために、ちいろば会では「〇〇さんプロジェクト！」とそれぞれの個人名によるプロジェクトが遂行されていくのですが、その際、職員の意思統一をしっかりと図ることと“ユーモアで関わる”ことの重要性を石垣さんは力説します。また、座学ではハウツー的なビジネスマナー等の訓練よりも、“感謝の心”とそれを表現することを繰り返し徹底する構造となっているのが印象的でした。それが、“人とつながりを深め、(周囲からの)理解を得られ、仕事ができるようになるから”と、更に熱く語る石垣さん。感謝の心が行き交い、真のつながりができれば、職場に必ず支援をしてくれるキーパーソンとなる人物が現れる。そうすれば、トライアル雇用が終わった後、続かずに離職してしまう…そんな事態等も避けられるはず…『ずっと働いてかっこいい』を目指して活動をしています。

## ○ちいろば会から見えた NPO 的運営○

取材中、ユーモアあふれる腹話術の一芸披露?! など、おもてなしの数々により笑いが絶えることなく、最後には会のテーマソング合唱で送り出して頂くなど、

『 出会った人を元気にし、つながりを広げていく 』

それが、ちいろばの運営を支えている力だと実感しました。

だからこそ、事務所を安価で提供してくれる支援者が現れるし、開所式に参加した100人以上もの支援が得られるのでしょうか。そしてこのような人的パワーは NPO の基本ともいえると思います。

「IQ でも EQ でもなく NQ=ネットワーク力」  
「我良し、相手良し、地域良し」

NPO 運営の為に東奔西走していく中で出会ったこの言葉を大切にしているようで、今後もぜひ、笑いあるつながりの輪を広げて欲しいと思います。最後に「21年度の目標は、チャリティーによる資金造成も積極的に行うこと」最終的な目標は『ちいろば会』の訓練生なら大丈夫という“ちいろばブランド”を確立すること”ということでした。

職業リハビリ中にもかかわらず、取材に応じて頂きありがとうございました。



“ちいろば”とは“ろばの子”の意味!  
パンフレットにはかわいくて  
力強い“ろばの子”がいます!

## NPO運営に役立つかも!?本 ★ PART 2 ★

### 企画力 ～共感の物語を伝える技術と心得～

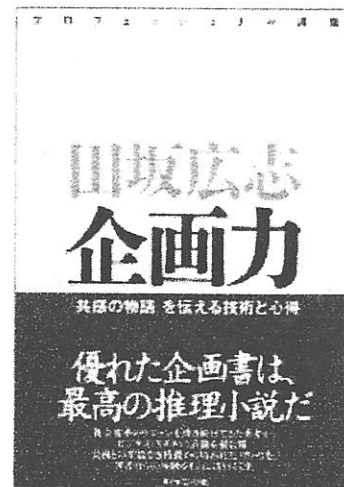
(著書: 田坂 広志 ダイアモンド社)

企画書とは「物語のアート」と言い切る田坂氏。「アートとは「技術」と「心得」という定義のもと、「物語」を魅力的に語ることで、共感が生まれ、人々の間に知恵が沸き、行動に駆り立てられる…深い共感が生まれ人と組織を動かすのが『企画書』であると著書は言います。

本書中にある“企画書と計画書の違い”についての下りなどでは、たいていの人が書いているのは、実は計画書ではないかと考えさせられます。

本書は夢と現実のバランスを面白くとる人間の生き様など、P3でご紹介した本のように、心の内側に触れる面と、企画書作成の為の実践的な情報面との両面から構成されています。助成金申請や他機関と協働等で企画書を提出・作成する場面がある時に、皆さんのお役に立つ本だと思います。実際に皆さんの企画・事業が深い共感のもとで次々と遂行できるように願いつつ、本書をお勧めします!

こっちも注目!





## 県からのお知らせ



無料です！！

### ♪役に立つ協働講座♪

県職員、市町村職員、NPO関係者が、「NPO」と「協働」について、理解と共通認識を深め、新たなパートナーシップの構築を図ることを目的として、講演会を下記のとおり実施します。参加ご希望の方は、下記の申込先までご連絡下さい。

日時：平成21年2月13日（金）午後1時30分～午後4時

場所：県庁4階講堂

内容：(1) 基調講演「NPOと行政の協働について」（仮題）

講師：ふくおかNPOセンター理事長 古賀 桃子

(2) 協働事例発表

「子どもに関わる人たち（教職員など）や思春期の子ども達への支援事業」

発表者 特定非営利活動法人 おきなわCAPセンター

※他1団体の発表を調整中



申込み方法：参加ご希望の団体は別紙「NPOとの協働」講演会参加者名簿をFAXにて送信して下さい。

FAX番号：098-866-2789

※お電話によるお申し込み、お問い合わせは

098-866-2187 担当 當山 までお願い致します。

なお、詳細は以下のHPでもご覧になれます。

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/contview.jsp?cateid=60&id=18451&page=1>

### ♪講師プロフィール♪

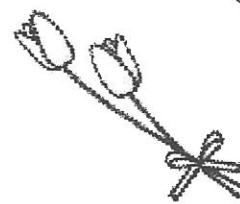
1975年福岡市生。学生時代に福岡市都心部のコミュニティ再生の活動に携わり、98年福岡初のNPO支援組織・NPOふくおかの設立と同時にスタッフに。00年、九州大学大学院法学研究科修士課程修了、同年事務局長就任。02年退職、現組織を設立。[草の根から、社会を描く。]を合言葉に、NPOに関する相談や研修の他、企業や行政向けの啓発・コーディネート等、多角的なアプローチでのNPOの活動基盤整備を図る。 [www.npo-an.com](http://www.npo-an.com)

※多数のご参加をお待ちしております！

### ～国の緊急経済対策について～

★民間企業等（NPOを含む）が地域の実情や創意工夫により求職者を雇い入れ、雇用を創出する事業を支援する「ふるさと雇用再生特別交付金（仮称）」「緊急雇用創出事業（仮称）」が実施されます！

★具体的な応募要綱などは、プラザのHPに掲載しますので随時ご確認下さい



## 法改正にともなう、社員総会における電磁的方法の表決方法について

特定非営利活動促進法（NPO法）の改正が平成20年12月1日に施行され、総会に出席できない場合、定款に定めれば、電磁的方法による表決権行使が可能になりました。

### ★電磁的方法とは…

- 1) 電子メール本文による方法
- 2) 電子メールに添付した添付ファイルやウェブサイトに書き込みによる方法
- 3) フロッピーディスクやCD-ROMなどの磁気媒体に記録したものを  
交付する方法

※電磁的方法を採用するためには、法人の定款変更の認証申請が必要になります!  
現在の「書面による」を読み替えるものではありません。

★大切なお知らせです★

～11月に行われました、会計・税務講座にて実施した  
アンケートにご協力下さり、ありがとうございました～

『テキストを事前にHPでダウンロードできるようにしては?』などの  
貴重なご意見を頂きました。  
早速次回からアンケート結果を反映させて、よりよき講座運営を行うよう  
善処いたします。なお、アンケート結果は、HPでご覧になれます。



## プチコラム&ちょっと一言

### ★ プチコラム～組織のP・G・O・Cという段階～

以前、日本NPOセンター理事山岡氏のP→G→O→Cという組織の段階について説明する記事を読んだ  
なるほどと思ったので皆さんにもお伝えしたく、簡単に説明します。

PはPersonのことで、個人の想いの段階。GはGroupで個人の集まりで仲間同士楽しくわいわい  
と行える範囲の段階、OはOrganizationで、それぞれの役割分担ができており、個人の想いが一つの塊とな  
って動ける段階、CはCorporationで自治体等と契約が対等にできる社会的責任の意識も非常に高い段階と説明  
されています。(この組織論から、山岡氏は、現在のNPOではなくNPCとしては…という内容の講演をさ  
れていた記憶があります)

自分たちの活動が、社会的使命(ミッション)を「組織」として、どれくらい達成できているのか…個々  
人のパッション(想い)だけで終わっている部分はないか?など、活動を振り返り評価してみることも、会  
の成長に役立つかもしれません。

### ★ ちょっと一言～書籍紹介

今回は、2冊とも、田坂氏の著書をご紹介させて頂きましたが、他に2冊ご紹介したい本があります。  
1冊は『人間の安全保障(著書:アマルティア・セン※ノーベル経済学受賞者)』です。各国の史実を紐解きな  
がら、世界を俯瞰するセン氏の考える“人権”についてや“西欧化する社会という幻想”については、一度  
読まれると、社会変革などを考えるのに、役立つのではと思います。2冊目は『沖縄文化論(著書:岡本太  
郎)』です。「太陽の塔」など有名な岡本氏で、絵や造形物によるイメージが強いかもしれませんが、実は、  
多数のエッセイを上梓されており、物事を捉える鋭い目で書かれた興味深い著書が多数あります。

本書は沖縄が日本へ復帰する1972年に刊行されているのですが、今読んでも大変おもしろい内容とな  
っています。太郎氏が見た当時の沖縄を読んで、現在の沖縄が抱える社会問題を一考してみると、新たな発  
見があるかも!という一冊です。

# 助成金情報

## < マイクロソフトNPO協働プログラム >

**ITの視点を活かして社会貢献をしたい  
団体のプログラムです!**

募集期限：平成21年2月18日  
対象：インターネットの安心・安全な利用を推進する活動。違法有害コンテンツから青少年を守る活動。ITの新たな可能性を拓ける活動。

金額：1件あたり上限300万円

<問い合わせ・申込先>

(財)日本国際交流センター

電話：03-3446-7781

FAX：03-3443-7580



## <アウトドア自然保護基金プログラム >

自然保護のために活動している環境団体への活動資金の援助です。常時募集していますが、2008年度第4期の申込み締切は2009年2月15日です。

対象：自然保護に対して明確な行動指針がある団体  
金額：10万～50万円程度

<お問い合わせ・申込先>

コンサベーション・アライアンス・ジャパン

埼玉県所沢市東所沢5-12-12

(株)アライテント内

電話：042-944-5855

FAX：042-944-5825

## < 全日本冠婚葬祭互助協会 社会貢献基金 > 対象分野が幅広いです! チェック&チェック

募集期限：2009年2月21日必着

対象：地域において、社会貢献活動を行う各種団体への助成や、社会貢献に資する調査・研究を目的とした事業に対する助成です。

- ① 研究助成事業 / ② 高齢福祉事業 / ③ 障害者福祉事業 / ④ 児童福祉事業 /
- ⑤ 環境文化保全事業 / ⑥ 国際協力・交流事業

金額：1件当たり上限200万円

<問い合わせ・申込先>

社団法人：全日本冠婚葬祭互助協会 社会貢献基金 運営事務局

電話：03-3433-4415 FAX：03-3435-0880



## < URCAまちづくり企画支援事業 >

募集期限：2009年2月28日

対象：地区の活性化を目的として実施する事業。ハード整備・イベント等のソフト事業等幅広く対象です。

支援内容：審査後、事業実施の支援金を供与。

<問い合わせ・申込先>

社団法人 再開発コーディネーター協会 URCAまちづくり企画支援事業事務局

電話：03-3437-0261 FAX：03-3432-8908



## ◎ 編集後記 ◎ ～みなさんへお別れのご挨拶～

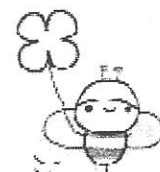
今年度最後となるバナナ通信2月号はいかがだったでしょうか。

20年度の通信は、6月号で「協働」8月号は「会計の基礎的情報」10月号は「資金造成」12月号は「年度末に役立つ情報」そして今月号は「運営についての考察」を柱にたて作成しました。そして、『琉球烈団』のコーナーでは、協働企画上手な『ホールアース研究所』、次々と助成金をとる『カタンニュークラブ』、ブログを有効活用している『ワン's パートナーの会』、資金造成のプロともいえる『ライフサポートてだこ』今月は活動が充実している新旧団体として『那覇市街角ガイド』に『ちいろば会』と皆さんの運営のヒントにもなるかと思われる団体をご紹介してきたつもりです。

バナナ通信はまだ続きますが、この通信を今年度担当した渡邊は、別の機関で皆さまの支援をすることになりましたので、琉球烈団などの企画は終了致します。

団体の皆さまと自分をつなぐバナナ通信を毎月楽しみながら書いておりました。

拙い通信をお読み頂いたことに心から感謝致します…!



皆さまの更なる活動の充実とご活躍を心より願っております。本当にありがとうございました! (渡邊)